

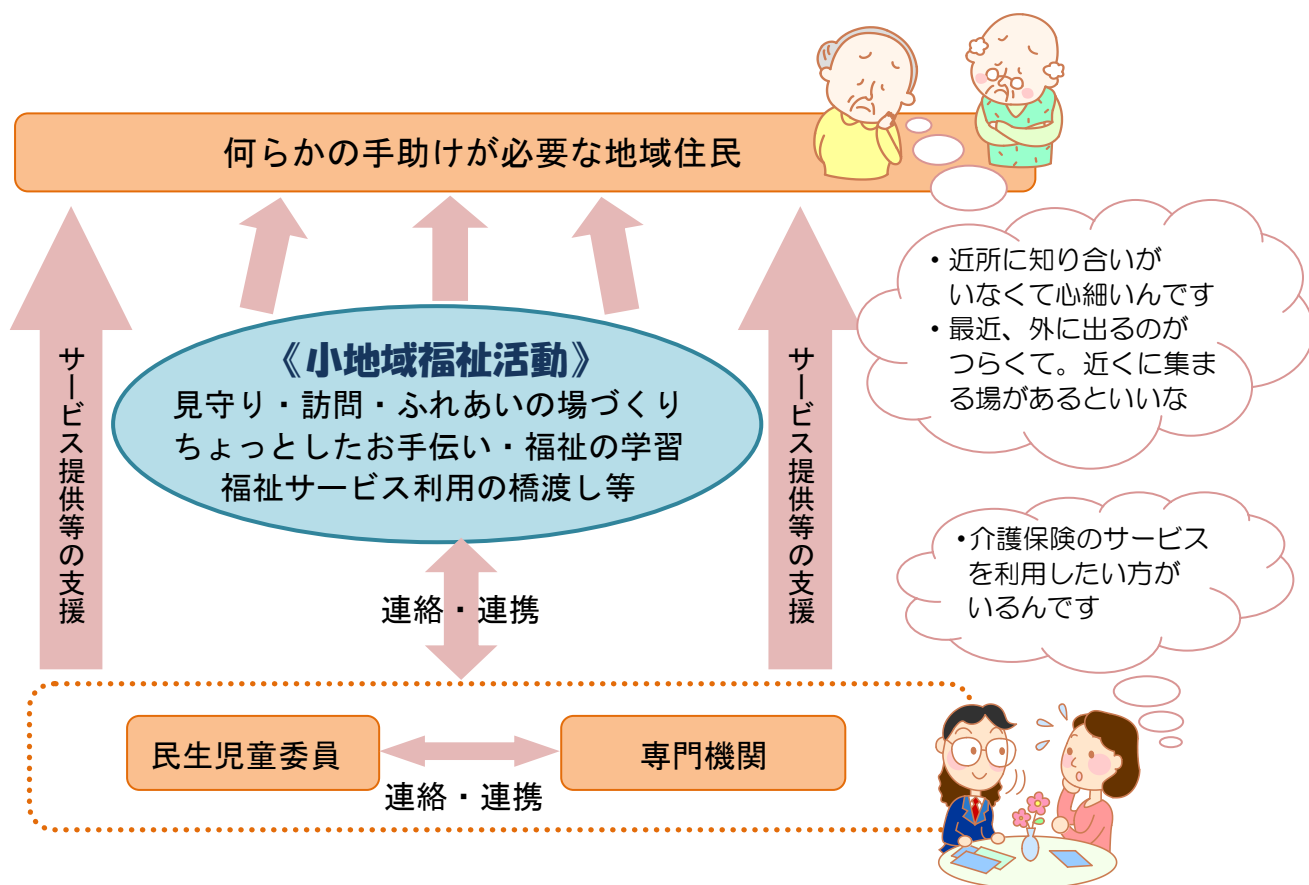
地域のみんな ふれあい・支えあいのまちづくり

～ 小地域福祉活動 ～

◆小地域福祉活動とは

小地域福祉活動とは、地域の中の困ったことを素早く発見したり、ひとり暮らしや日中ひとりとなる高齢の方、体の不自由な方、子どもたちなどを地域ぐるみで見守ったり、お互いに支えあい、ふれあいに満ちた地域にしていこうとする活動です。

誰もが安心して生活できる地域をめざして、身近な生活の場でおこる課題を、住民が力を合わせ、専門機関と協力しながら進めていきます。



◆活動の範囲

おおむね自治会ぐらいの広さで、活動団体の組織化をお手伝いしています。

自治会、民生児童委員、ボランティア、老人クラブ、PTA、青少年対策地区委員会、子供会、その他関心のある方など、より多くの方が活動に賛同し参加できるように工夫して呼びかけます。

◆活動内容

地域の特性に合わせた、きめ細かい柔軟な活動内容が特徴です。他地区の活動を参考に、継続して取り組むことができる内容に取り組んでいただければと考えます。

- (活動例) ① 地域ふれあいの輪をつくる活動(茶話会・食事会等)
② 情報や知識を伝える活動(学習会等)
③ 見守り・声かけ・戸別訪問活動(安否を確認する活動)
④ 健康増進など予防的な活動 ⑤ ゴミ出しなどの個別支援活動

市内活動地区の事例

1



地域の集まりやすい会場を活用し、茶話会を開催。気になる方への声かけや、定期的な参加者の状況把握もできます。

2



茶話会の中に、地域包括支援センター職員をお招きし、介護保険制度の学習会。

3



ひとり暮らし高齢者のお宅を訪問し、不安なことなどいろいろ伺います。茶話会の際の写真をプレゼント!

◆武蔵村山市社会福祉協議会の役割

活動が地域に根付くように、関係機関との連携を密にして、地域福祉の推進に努めます。

- ① 小地域福祉活動の各地域への説明及び活動面での支援
- ② 活動費の助成、ボランティア保険への加入
- ③ 代表者連絡会、協力員研修会等の開催
- ④ 社協機関紙「こもれび」・情報紙「小地域ふれあいだより」等にて事業周知

1



活動している各団体の情報交換の機会が「協力員連絡会」。地域の課題や運営のノウハウを共有しあいます。

2



3



活動の参考になるような「研修会」、協力員自身が活動を楽しめるようリフレッシュも兼ねた「交流会」を開催。写真(中央:普通救命講習、右:レクリエーション)

〈問い合わせ・相談先〉

武蔵村山市社会福祉協議会 地域福祉支援担当 電話566-0061